



2021年度第1期『人権に係わる相談担当者等スキルアップ講座』

1 期	開催日	6月24日(木)	7月29日(木)
	分野	多文化共生	人権全般
	講座名 午前の部 10:00 ～ 12:00	みえ外国人相談サポートセンター(MieCo)に 寄せられる相談事例から ～私たちにできること～	SDGsと人権相談 ～SDGsを人権相談にどう生かすか～
	講師	みえ外国人相談サポートセンター 国際教育課長 宇藤 美帆(うとう みほ) 書記 酒徳 和代(さかとく かずよ)	公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 研究員 中森 洋子(なかもり ようこ)
内容・講師紹介など	<p>◆概要 三重県国際交流財団が運営するMieCo(みえこ:みえ外国人相談サポートセンター)に寄せられる事例から、在住外国人の方々が抱える課題と、私たちができることについて考えたいと思います。</p> <p>◆講師紹介</p> <p>○宇藤美帆 大学卒業後、三重県国際交流財団に入社。日本語ボランティア育成研修、海外からの研修員受入れ事業、医療通訳事業、外国につながる子どもたちの教育に関する事業等を担当。</p> <p>○酒徳和代 大学卒業後、ホテル勤務、保育所でのポルトガル語通訳翻訳の仕事を経て、三重県国際交流財団に入社。外国人住民相談、通訳翻訳に関する事業等を担当。</p>	<p>◆概要 SDGsの基本的理念は「誰一人取り残さない」ということです。そのために、まず世界・日本の現状を知ることからはじめましょう。そして、個人として、相談員としてできることを一緒に考えたいと思います。</p> <p>◆講師紹介 1994年4月から伊賀市の小学校で教員生活をスタートする。その後も伊賀市内小学校の教員として勤務。 2020年4月から公益財団法人反差別・人権研究所みえ(愛称:ヒューリアみえ)の研究員。</p>	
分野	部落問題	子ども	
講座名 午後の部 13:30 ～ 15:30	「私の歩んできた道」 ～部落問題から思うこと～	子どもの権利を基盤にした子どもとの関わり方 ～置き去りにされる困窮 困窮世帯の子どもたちとの活動から見えること～	
講師	阪田 はつみ(さかた はつみ)	特定非営利活動法人こどもNPO 副理事長 山田 恭平(やまだ きょうへい)	
内容・講師紹介など	<p>◆概要 部落問題を学び、自らが疑問に感じる社会の価値観や、25年間勤めた奈良市南人権文化センター職員としての経験を基に、相談業務から見てきたことや感じてきたことについてお話をしていきます。</p> <p>◆講師紹介 奈良市南人権文化センター職員として25年間勤務し、さまざまな相談を受けてきた。小中学生から高齢者まで幅広い年代の人たちに、反差別の思いを伝えている。</p>	<p>◆概要 生活困窮世帯の子どもに向けた学習支援事業、居場所づくり、子ども食堂、プレーパークなどの活動を通じた、子どもたちたちの現状や取り組む中での変化について触れながら、子どもの権利条約の基礎と子どもたちとの関わり方についてお話ししていきます。</p> <p>◆講師紹介 1989年(平成元年)7月14日生まれの31歳。名古屋出身。大学卒業後、人材業や塾運営に携わる。ニート引きこもり経験もある。こどもNPOには2015年から参画。地域での学習支援や居場所づくり事業を担当する。2017年から理事。2019年から副理事長。最近では、学校内に居場所をつくる取り組みを始めている。</p>	